

市指定文化財<史跡>

きこうじせきじん
木柑子石人

指定日 昭和50年7月31日

所在地 菊池市木柑子



この石人は、前方後円墳である木柑子古墳後円部の主体付近に立ち、県下に現存する石人6例のうち元位置に残る唯一のものである。

現況での高さ109cm、肩幅33cm、胸の厚さ23cmで、頭部の一部分と右腕を失っており、短甲^{たんこう}を着用した立ち姿とみられる。硬く荒い凝灰岩を使用しており、現在は地元の人の手により頭部を接着してある。腰はくびれ、左の手を腰にあて指の表現も施しており、6本指のようにも見える。この石人は、古墳時代後期の墳墓守護のためのものと考えられる。

平成9年(1997)9月、県営圃場整備事業に伴う発掘調査により、近くの木柑子高塚古墳から4体の石人と馬具、鉄鏃^{てつそく}などが出土した。木柑子石人との関係を知るうえでも今後の研究の貴重な資料となるものと思われる。同時期の岩戸山古墳(福岡)との関係なども興味深いものがある。